

事務事業評価資料

施策名		教育支援体制の充実		所管部局課名	教育委員会事務局 高校教育課				
事業名		高校生 心のサポートシステム		担当者電話番号	管理係 078-362-3776				
事業目的		いじめや不登校等の高校生の問題行動への対応							
事業内容		キャンパスカウンセラー(臨床心理士等)の配置 生徒指導体制のあり方を実践研究				事業開始年度	平成13年度		
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(32,549 千円) 32,549 千円		(30,673 千円) 30,673 千円		(30,451 千円) 30,451 千円			
	人件費	891 千円	従事人員 0.1人	847 千円	従事人員 0.1人	836 千円	従事人員 0.1人		
	総コスト(+)	33,440 千円	従事人員 0.1人	31,520 千円	従事人員 0.1人	31,287 千円	従事人員 0.1人		
事業の目標	全県立高校へのキャンパスカウンセラー配置				[目標設定理由] いじめや不登校等の高校生の問題行動に対応するため、全県立高校で実施				
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	キャンパスカウンセラーの配置校数	全県立高校	毎年度	156校 (214 千円)	156校 (202 千円)	153校 (204 千円)	100%	100%	100%
評価結果	必要性	・学校事故が発生した場合の生徒への心のケアや、いじめ・非行に係る加害・被害生徒の立ち直り支援、不登校生徒及び担当教員に対する再登校に向けたアドバイスなど、学校における様々な問題への対応を行う必要がある。							
	有効性	・全県立高校に配置され、問題行動への対応が図られており、有効な事業である。 ・PTSDの抑制・防止や、不登校生徒及び中途退学者の減少など、学校で起こる課題への対応に応える仕組みとして、生徒の健全な育成を図っている。							
	効率性	・生徒の心身の健康問題の複雑化、多様化に伴い、各校の実情を踏まえ、効果的、効率的な配置となるよう検討のうえ、実施している。 ・21年度は1単位当たりコストが増加するのは、増加傾向にある発達障害や精神障害により反社会的行動や自殺等の恐れのある生徒が増加傾向となっていることによるものである。							
	民間・市町との役割分担	・県立高校在校生を支援する事業であるため、県が負担する。							
	受益と負担の適正化	・学校教育法第5条、学校保健法第11条に基づき、学校設置者の責任として県が負担する。							
実施方針	方向性	新規 廃止	拡充 縮小	継続 凍結(休止)	実施手法の見直し 延長 終期設定				
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
説明	より効果的な事業内容・執行方法について、引き続き検討のうえ実施								